

社協だより



福祉委員研修会



保々地区文化祭
折り鶴コーナー



保々地区文化祭
災害ボランティア募金活動



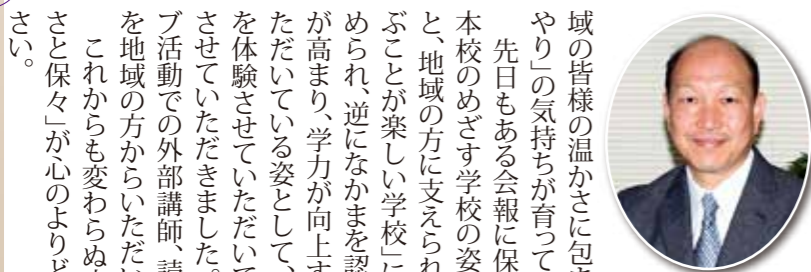
“ふれあい”いきいきサロン



手話講座



千羽鶴贈呈



四日市市立保々小学校
校長 小林 一也

日頃は、小学校の教育活動に対し、温かく応援をいただき、ありがとうございます。保々の自然と地域の皆様の温かさに包まれ、子どもたちの心の中には確実に「優しさ、おもいやり」の気持ちが生み出されていると感じています。

先日もある会報に保々小のことを紹介させていただきました。そこには、本校のめざす学校の姿として「学ぶことが楽しい学校」を目指していることと、地域の方に支えられている本校の様子を紹介させていただきました。「学ぶことが楽しい学校」になるために、「学び合う授業」を通して、なにかに認められ、逆になかまを認めていくことを通じて、学びが楽しくなり、自尊感情が高まり、学力が向上することを目指しています。また、地域の方に支えられている姿として、サツマイモの栽培や昔ながらの道具を使った米作りを体験させていただいていることや、大豆を使った豆腐作り体験などを紹介させていただきました。この他にも、朝の登校指導、帰りの見守り活動、クラブ活動での外部講師、読み聞かせボランティアなど数えきれないほどの応援を地域の方からいただいています。

これからも変わらぬ応援のほどよろしくお願いたします。そして、「ふるさと保々」が心のよりどころとなる子どもたちの成長に、お力をお貸しください。



保々地区社会福祉協議会
会長 國保 善春

地域の皆様には、保々地区社会福祉協議会に平素よりご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。さて、東日本大震災から四年の時が過ぎようとして、少しずつ人々の記憶から薄れてきています。福島県には、一九四名の震災孤児等の子どもたちがいます。その子どもたちにも少しでも役に立てたらとの思いから、昨年の文化祭では「ふくしま子ども寄付金」への募金活動を、民生委員様の協力で行いました。皆様の心温まる寄付金(三万七千七百円)を福島県に送金いたしましたところ、福島県知事より丁寧なお礼のお手紙をいただきました。今後も保々地区社会福祉協議会では、この行事を続けていきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

平成26年度の主な事業

- 福祉委員研修会 6月6日(金)
- 手話講座(7回) 7月2、9、16、23、30日
8月6、20日
- 敬老慰安会 9月15日(月)
- 保々地区文化祭 11月3日(月)
- 高齢者健康のつどい 10月~12月
- 友愛訪問事業 6月・12月
- ふれあいきいきサロン 6月23日、7月15日
9月29日、10月30日
11月17日、1月26日

募金活動賛同へのお礼

平成26年11月3日(日)文化の日に、ふれあい会館に於いて、「東日本大震災ふくしま子ども寄附金」のパネルを展示し、支援金を募りました。

たくさんの方々から心温まる善意をいただき、31,007円お預かりしました。この全額を11月10日、東日本大震災ふくしま子ども寄附金へお届けしましたことをご報告申し上げます。

また数日後、福島県知事 佐藤雄平様より「お寄せいただいた寄付金は、被災した子供たちを長期的、継続的に支援していくために、有効に活用させていただきます。この度の温かい御厚情に対し、お礼申し上げます」といった内容の礼状をいただきました。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

民生委員児童委員・主任児童委員さんの紹介

安心・安全の町づくり推進に向けて、尽力頂いている委員さんをご紹介します。災害時支援から子育て・高齢者の方々の諸問題など、お気軽にご相談ください。秘密厳守で相談に応じます。

千々岩 啓子 高見台1.2丁目 高見ヒルズ	斎藤 重樹 中野町山条・高原	市川 進 中野町中瀬古	市川 久 中野町一色	樋口 久美子 小牧町南	竹口 敏雄 小牧町西	國保 千秋 副会長 小牧町北	國保 信二 会長 まきの木台
相馬 弘宗 市場町	足立 治 西村町	伊藤 正子 西村町上条	寺本 真由美 西村町新田	伊藤 はるみ 高見台1丁目 デンソー高見台社宅	大和 義典 まきの木台	天春 咲子 主任児童委員	藤井 幸恵 主任児童委員

編集後記

高齢者が住み慣れた地域や家庭で安心して暮らすためには、地域での日常的な支えあい活動が欠かせないと言われています。社協だよりを作成していると、保々ではたくさんの方がこういった活動に参加、協力をしていてくれるのだとほっとさせられます。

そんな活動の一端でも知っていただけたら、この「たより」を、昨年からはカラー化して作成しています。

編集委員

- 國保 善春
- 出口 文彦
- 國保 信二
- 柴田 正
- 三曾田 明
- 天春 八侑
- 野見山 博幸
- 山川 美恵子



保々地区市民センター
館長 森昭宏

保々地区の皆様には、いつも大変お世話になり、ありがとうございます。

少子高齢化が進み、世は人口減少社会を迎えました。今後、公的な制度だけでは対応が難しくなり、見守りや支え合いなど、地域福祉活動の重要性が一層増していくものと思います。

その活動を支える地域の力は、弱体化したと言われますが、災害などを契機に地域のつながりの大切さが見直され、濃密な関係に窮屈さを感じる世代にも、「きずな」という言葉が定着するようになりました。これからは、寛容で柔軟性を持った、ゆるやかな連帯を構築し、地域福祉の担い手を育てていくのが良いのではないのでしょうか。

それには、自治会をはじめ地域の団体が結集した、地区社会福祉協議会の活動が欠かせません。今年度は、「ふれあいいきサロン」に取り組むなど、新しい動きもありました。各団体が連携を深め、活動がより活発になることが期待されます。

この地域は、常々、人と自然に恵まれたところであると感じています。これらの資源を生かしながら、誰もが暮らしやすいまちづくりを、共に進めてまいります。

高齢者健康のつどい

各町の大樹会(老人会)ごとに講師を迎え、交通安全講習やグラウンドゴルフなど元気に楽しんでいます。子どもたちとの交流も行っています。



上条



中野町



米寿の方たち

平成26年9月15日

長谷川 静子 (高見台)	山川 美代 (新田)	市川 ひさ子 (新田)	山川 まさ子 (新田)	寺本 衛 (新田)	山川 志ん (新田)	増田 のぶ子 (上条)	水谷 八重子 (西村町)	西脇 巻枝 (西村町)	谷口 ふみ子 (市場町)	高野 フジエ (市場町)	坂口 さだ子 (小牧西)	竹口 とくゑ (小牧西)	服部 衛 (小牧西)	岩崎 さなゑ (小牧南)	齋藤 明義 (小牧南)	門脇 茂 (新高原)	松岡 幸生 (新高原)	天春 とみ (一色)	天春 薫 (中瀬古)	天春 明吉 (中瀬古)	市川 吉安 (中瀬古)	市川 ふき枝 (中瀬古)	市川 修 (中瀬古)
--------------	------------	-------------	-------------	-----------	------------	-------------	--------------	-------------	--------------	--------------	--------------	--------------	------------	--------------	-------------	------------	-------------	------------	------------	-------------	-------------	--------------	------------

平成25年度福祉基金会計報告

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

平成10年に新生活改善推進運動の中で、保々地区連合自治会の協力によって福祉基金が創設されました。以来皆様方の温かいご寄付により運営されています。心より感謝申し上げます。寄付金は下記のように活用させて頂いておりますのでご報告申し上げます。

<収入の部>	
・前年度より(福祉基金)繰越金	7,500,699
・寄付金	965,000
・利息	1,194
合計	8,466,893
<支出の部>	
・運営費(敬老慰安会、高齢者健康の集い 友愛訪問、手話教室等)	700,000
・ご寄付を頂いた方へ礼状印刷	66,900
・線香、ローソク代	31,500
合計	798,400

収入合計 8,466,893 - 支出合計 798,400 = 7,668,493
平成26年3月31日現在、福祉基金として7,668,493円積み立てられています。
福祉機材の購入、災害時の炊き出し等緊急時に備えております。

生活改善運動
この運動の中心として「香典返しの廃止」に取り組んでおり、趣旨に賛同していただいたご家族からその一部を社協へご寄付いただいております。皆様の温かいご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ご利用ください
テント 3張
車イス 3台
歩行器 2台
介護用ベッド 1台
デジタルピアノ 1台
(ふれあい会館)
【貸出申込先】
団体事務局
339-3130

友愛訪問
民生委員と福祉委員と一緒に、各町のひとり暮らし、寝たきりの方のお家へ年2回訪問させていただきます。

聖十字四日市老人福祉施設

26年11月オープン
聖十字四日市老人福祉施設

地域密着型特別養護老人ホーム 29床
短期入所生活介護 10床
※全室個室です。

雄大な鈴鹿山脈の絶景を望む、明るい施設です。
家庭的で和やかな雰囲気の中、ご利用いただく皆様に、安全・安心のサービスを提供いたします。

施設見学・入居のご相談、随時受け付けております。

上記のお問い合わせ
☎059-339-2000

聖十字保々在宅介護サービスセンター

地域の皆さまが、介護が必要になっても住み慣れた場所で安心して生活出来るよう、いろいろな事業が組み合わされた在宅での介護を支援する施設です。

通所介護事業所(デイサービス)
介護保険の認定をされた方が、日帰りで通所して入浴や食事、レクリエーション等のサービスを受けていただけます。(ご自宅まで車で送迎します)
いろいろなボランティアの方々にもご協力いただいております。

居宅介護支援事業所
ケアマネジャーが、ご利用される介護保険サービスの相談・調整をいたします。

在宅介護支援センター【四日市市より委託事業】
介護の方法や介護保険について、生活上の不安など、介護の必要な方やご家族の方からの相談をお受けします。
また、在宅サービスを受けるための手続きやアドバイスをを行います。(費用はかかりません)
保々地区を中心とした総合相談窓口です。

訪問給食サービス【四日市市より委託事業】
一人暮らしや高齢者世帯等にお食事をお届けし、安否確認もを行います。昼食・夕食1日2回(月～土)



上記のお問い合わせ
☎339-7788まで



社会福祉法人鈴鹿聖十字会
聖十字保々在宅介護サービスセンター
聖十字四日市老人福祉施設
施設長 藤田隆太

平素は、当施設の運営に関しましてご理解ご協力を賜り、まことにありがとうございます。聖十字在宅介護サービスセンターは、本年二月で開設以来九十四年を迎えることとなります。これもひとえに皆様方のご支援のおかげと、心より感謝申し上げます。

当センターでは開設以来、地域に根ざしたデイサービスセンターとして、またと身近な福祉の相談窓口として、高齢者の皆様も、もし介護が必要になられても、住み慣れた場所であって生活していただけるよう、微力ながらお手伝いをしてまいりましたが、さらに地域の皆様方の多大なご力添えをいただき、昨年十一月、当センターに隣接した敷地内に、「聖十字四日市老人福祉施設」を開設させていただきました。

この施設は、特別養護老人ホーム二十九名、ショートステイ十名の定員で、全室が個室です。施設内部は「ユニット型」と呼ばれる構造で、十室単位で共同生活室(リビングルーム)を設け、家庭的な雰囲気の中、ご利用される介護保険サービスの相談・調整をいたします。

とはいえ、始まって日も浅く、まだまだ道半ばです。両施設の職員一同、皆様のご指導ご鞭撻をいただきながら、ご利用いただく皆様が無事に、安心して過ごしていただけるよう、取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。